

対象校No.
注4

学校コード F104310100950
注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
石巻専修大学 経営学部 情報マネジメント学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人専修大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	石巻専修大学 事務部 事務課
職名・氏名	事務課掛長 目黒 誠也
電話番号	0225-22-7711
(夜間)	0225-22-7711
e-mail	gakumu-isu@isenshu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜情報マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 専修大学

(2) 大 学 名

石巻専修大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒986-8580

宮城県石巻市南境新水戸1番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヒダカ ヨシヒロ) 日 高 義 博 (平成18年11月)	(マツキ ケンイチ) 松 木 健 一 (令和3年11月)	役員改選のため(4)
学 長	(オイケ マモル) 尾 池 守 (平成28年4月)	(アベ トモキ) 阿 部 知 顕 (令和7年4月)	R7.4.1付 教学役職者改選のため(7)
学 部 長	(スギタ ヒロシ) 杉 田 博 (平成29年4月)		
学科長等		(コドウ シュウヘイ) 工 藤 周 平 (令和7年4月) (ミナト シンゴ) 湊 信 吾 (令和5年4月) (コドウ シュウヘイ) 工 藤 周 平 (令和3年4月)	R7.4.1付 教学役職者改選のため(7) R5.4.1付 教学役職者改選のため(5) 学科新設のため(3)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入して;

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告

された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 情報マネジメント学科 学士(経営学)	経済学関係 工学関係	4年	45人	2年次0人 3年次0人 4年次0人	180人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 (学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 45 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 45 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 45 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 45 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 45 (-) [-]	人 - (-) [-]	-	0.47倍	-	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	95 (-) [-]	- (-) [-]	108 (-) [-]	- (-) [-]	46 (-) [-]	- (-) [-]	48 (-) [-]	- (-) [-]	42 (-) [-]	- (-) [-]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	89 (-) [-]	- (-) [-]	104 (-) [-]	- (-) [-]	45 (-) [-]	- (-) [-]	48 (-) [-]	- (-) [-]	42 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	78 (-) [-]	- (-) [-]	91 (-) [-]	- (-) [-]	44 (-) [-]	- (-) [-]	48 (-) [-]	- (-) [-]	39 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	25 (-) [-]	- (-) [-]	30 (-) [-]	- (-) [-]	17 (-) [-]	- (-) [-]	14 (-) [-]	- (-) [-]	22 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	-		0.55		0.66		0.37		0.31		0.48					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。
 該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。
 春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次			25 [-] (-)	— [-] (-)	30 [-] (-)	— [-] (-)	17 [-] (-)	— [-] (-)	13 [-] (-)	— [-] (-)	22 [-] (-)	— [-] (-)	
2 年次					25 [-] (-)	— [-] (-)	29 [-] (-)	— [-] (-)	17 [-] (-)	— [-] (-)	13 [-] (-)	— [-] (-)	
3 年次							24 [-] (-)	— [-] (-)	28 [-] (-)	— [-] (-)	17 [-] (-)	— [-] (-)	
4 年次									23 [-] (-)	— [-] (-)	31 [-] (3)	— [-] (-)	
計			25 [-] (-)		55 [-] (-)		70 [-] (-)		81 [-] (-)		83 [-] (3)		

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	25 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	55 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	70 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	81 人	3 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	0 人	勉学意欲喪失
			令和4年度	2 人	0 人	進路変更(就職、他教育機関)
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	83 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		3 人		3 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{55} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{3}{84} = \boxed{3.57} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 情報マネジメント学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置							兼任・兼務
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	手		
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2			1			1				
	情報活用法Ⅱ	1前	2			1							
	情報社会論	1後		2									
	基礎統計学	1前	2				1						
	基礎数学	1前	2				1						
	日本語技法A	1前	2									1	
	日本語技法B	1後		2									1
	英語A	1前	2									4	
	英語B	1後	2									4	
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前		2								4	
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後		2								3	
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4前		2									1
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後		2									1
	中国語AⅠ	1・2・3・4前		2								2	
	中国語AⅡ	1・2・3・4後		2								2	
	中国語BⅠ	1・2・3・4前		2									2
	中国語BⅡ	1・2・3・4後		2									1
	キャリア設計	1後		2									1
	キャリア開発	2通		2									1
	キャリア研究	3前		2									1
	国際体験研修	1・2・3・4通		2									1
	海外語学研修	1・2・3・4通		2									1
	異文化体験研修	1・2・3・4通		2									1
	フレッシュマンセミナー	1通		4		3			2				
	いのちのまき学	1前		2								1	
	復興ボランティア学	1・2・3・4前		2								1	
	ボランティア論	1・2・3・4後		2									1
	ボランティア演習	2・3・4後		2									1
	総合科目	1・2・3・4前		2		1							
	日本と世界の歴史	1・2・3・4前		2									1
	文化の理解	1・2・3・4後		2									1
	哲学-知の起源-	1・2・3・4前		2									1
	心理学-心の科学-	1・2・3・4前		2									1
	社会学の世界	1・2・3・4前		2									1
	法と社会	1・2・3・4前		2									2
	法と人権	1・2・3・4後		2									1
	地域と政策	1・2・3・4後		2									1
	生命と地球	1・2・3・4前		2									1
	環境と科学	1・2・3・4後		2									1
	健康科学と身体運動	1・2・3・4前		2									4
小計(40科目)													
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2			1							
	会計学入門	1前		2			1						1
	マーケティング入門	1後	2										
	マーケティングリサーチ	2前		2									1
	経済学入門	1後	2				1						
	ビジネスと情報	1後	2				1						
	情報と法	2前		2									1
	基礎数学演習	1前	2			1							
	データ分析基礎	2前		2				1					
	プログラミング基礎	1後	2			1							
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2		1							
	経営情報システム論	2前		2		1							
	マルチメディア通信論	2前		2		1							
	ロジカルシンキング演習	1後	2			2	2						
	経営戦略論	2前		2		1							
	経営管理論	2前		2									1
	地域経営論	2後		2									1
	サービスマーケティング	2後		2									1
	簿記基礎	2後		4									1
	コンピュータ会計	3後		2		1							
	経営組織論	3後		2									1
	アントレプレナーシップ	3後		2									1
	人材マネジメント	3前		2									1
	財務管理論	3後		2									1
	地域産業論	3後		2									
	経済理論	2前		2			1						
	金融論	2後		2									1
	経営科学	3前		2			1						
	応用統計学	2前		2			1						
	経営情報論	2後		2		1							
	経済データ分析	2後		2			1						
	データ分析応用	3前		2					1				
	データマーケティング	3後		2									1
	データベース論	2後		2		1							
	オペレーティングシステム論	2後		2		1							
	通信ネットワーク論	2後		2		1							
	地域ICT戦略論	2後		2									1
	プログラミング応用	3前		2			1						
	情報システム管理論	3前		2		1							
	情報システム設計論	3後		2									
	情報マネジメントセミナー	2通		4		5	2		2				
	ゼミナールⅠ	3通		4		5	2		2				
	ゼミナールⅡ	4通		4		5	2		2				
	卒業研究	4通		4		5	2		2				
	情報マネジメント特別科目Ⅰ(経営システム)	1前		2		1							
	情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)	1後		2			1						
	情報マネジメント特別科目Ⅲ(プログラミング)	2前		2		1							
	情報マネジメント特別科目Ⅳ(情報システム)	2後		2		1							
	情報マネジメント特別科目Ⅴ(人工知能)	3前		2		1							
	情報マネジメント特別科目Ⅵ(地域産業)	3後		2					1				
小計(50科目)													
合計(90科目)													
卒業要件及び履修方法													
基本教育科目の必修科目14単位、選択科目から30単位以上、専門教育科目の必修科目32単位、選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))													

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							兼 任 ・ 兼 務
			必 修	選 択	自 由	教 員	准 教 員	講 師	助 教	助 手			
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2					1					
	情報活用法Ⅱ	1前	2										1
	情報社会論	1後		2									1
	基礎統計学	1前	2										1
	基礎数学	1前	2					1					
	日本語技法A	1前	2										2
	日本語技法B	1後		2									2
	英語A	1前	2										4
	英語B	1後	2										4
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前		2									4
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後		2									4
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4前		2									1
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後		2									1
	中国語AⅠ	1・2・3・4前		2									2
	中国語AⅡ	1・2・3・4後		2									2
	中国語BⅠ	1・2・3・4前		2									1
	中国語BⅡ	1・2・3・4後		2									1
	キャリア設計	1後		2									1
	キャリア開発	2通		2									1
	キャリア研究	3前		2									1
	国際体験研修	1・2・3・4通		2									1
	海外語学研修(未開講)	1・2・3・4通		2									1
	異文化体験研修(未開講)	1・2・3・4通		2									1
	フレッシュマンセミナー	1通		4			3			1	1		
	いのちのまき学	1前		2									1
	復興ボランティア学	1・2・3・4前		2					1				
	ボランティア論	1・2・3・4後		2									1
	ボランティア演習	2・3・4後		2									1
	総合科目(未開講)	1・2・3・4前		2			1						
	日本と世界の歴史	1・2・3・4前		2									1
	文化の理解	1・2・3・4後		2									1
	哲学-知の起源-	1・2・3・4前		2									1
	心理学-心の科学-	1・2・3・4前		2									1
	社会学の世界	1・2・3・4前		2									1
	法と社会	1・2・3・4前		2									2
	法と人権	1・2・3・4後		2									1
	地域と政策	1・2・3・4後		2									2
	生命と地球	1・2・3・4前		2									1
	環境と科学	1・2・3・4後		2									1
	健康科学と身体運動	1・2・3・4前		2									3
小計(40科目)	-												
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2					1					
	会計学入門	1前		2					1				
	マーケティングリサーチ	1後		2									1
	マーケティングリサーチ	2前			2								
	経済学入門	1後	2						1				
	ビジネスと情報	1後	2							1			
	情報と法	2前		2									1
	基礎数学演習	1前	2					1					
	データ分析基礎	2前		2					1				
	プログラミング基礎	1後	2					1					
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2				1					
	経営情報システム論	2前		2				1					
	マルチメディア通信論	2前		2						1			
	ロジカルシンキング 演習	1後	2						2	1			
	経営戦略論	2前		2						1			
	経営管理論	2前		2									1
	地域経営論	2後		2									1
	サービスマーケティング	2後		2									1
	簿記基礎	2後		4									1
	コンピュータ会計	3後		2					1				
	経営組織論	3後		2									1
	アントレプレナーシップ	3後		2									1
	人材マネジメント	3前		2									1
	財務管理論	3後		2									1
	地域産業論	3後		2									1
	経済理論	2前		2						1			
	金融論	2後		2						1			
	経営科学	3前		2						1			
	応用統計学	2前		2					1				
	経営情報論	2後		2							1		
経済データ分析	3前		2								1		
データ分析応用	3後		2									1	
データマーケティング	2後		2						1				
データベース論	2後		2										
オペレーティングシステム論	2後		2						1				
通信ネットワーク論	2後		2						1				
地域ICT戦略論	2前		2							1			
プログラミング応用	3後		2								1		
情報システム管理論	3前		2					1					
情報システム設計論	3後		2						1				
情報マネジメントセミナー	2通		4					5	1	1	1		
ゼミナールⅠ	3通		4					5	2	1	1		
ゼミナールⅡ	4通		4					5	2	1	1		
卒業研究	4通		4					5	2	1	1		
情報マネジメント特別科目Ⅰ(経営システム)	1前		2					1					
情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)	1後		2							1			
情報マネジメント特別科目Ⅲ(プログラミング)	2前		2					1					
情報マネジメント特別科目Ⅳ(情報システム)	2後		2					1					
情報マネジメント特別科目Ⅴ(人工知能)(未開講)	3前		2					1					
情報マネジメント特別科目Ⅵ(地域産業)	3後		2						1				
小計(50科目)	-												
合計(90科目)													
卒業要件及び履修方法													
基本教育科目の必修科目14単位、選択科目から30単位以上、 専門教育科目の必修科目32単位、選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))													

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							重 任 ・ 兼 任
			必 修	選 択	自 由	専 任 教 授	講 師	助 教	助 手	重 任 ・ 兼 任			
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2			1	1						
	情報活用法Ⅱ	1前	2			1							4
	情報社会学	1後		2									1
	基礎統計学	1前	2				1						
	基礎数学	1前	2				1						
	日本語技法A	1前	2										3
	日本語技法B	1後		2									2
	英語A	1前	2										5
	英語B	1後	2										5
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前		2									
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後		2									4
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4前		2									
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後		2									1
	中国語AⅠ	1・2・3・4前		2									2
	中国語AⅡ	1・2・3・4後		2									2
	中国語BⅠ	1・2・3・4前		2									1
	中国語BⅡ	1・2・3・4後		2									1
	キャリア設計	1後		2									1
	キャリア開発	2通		2									1
	キャリア研究	3前		2									1
	国際体験研修	1・2・3・4通		2									1
	海外語学研修(未開講)	1・2・3・4通		2									1
	異文化体験研修(未開講)	1・2・3・4通		2									1
	フレッシュマンセミナー	1通		4			3	1	1	1			
	いのまき学	1前		2									1
	復興ボランティア学	1・2・3・4前		2			1						
	ボランティア論	1・2・3・4後		2									1
	ボランティア演習	2・3・4後		2									1
	総合科目(未開講)	1・2・3・4前		2			1						
	日本と世界の歴史	1・2・3・4前		2									1
	文化の理解	1・2・3・4後		2									1
	哲学-知の起源-	1・2・3・4前		2									1
	心理学-心の科学-	1・2・3・4前		2									1
	社会学の世界	1・2・3・4前		2									1
	法と社会	1・2・3・4前		2									2
	法と人権	1・2・3・4後		2									2
	地域と政策	1・2・3・4後		2									1
	生命と地球	1・2・3・4前		2									1
	環境と科学	1・2・3・4後		2									1
	健康科学と身体運動	1・2・3・4前		2									3
	小計(40科目)	-											
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2			1							
	会計学入門	1前		2		1							
	マーケティング入門	1後		2			1					1	
	マーケティングリサーチ	2前		2								1	
	経済学入門	1後		2			1						
	ビジネスと情報	1後		2			1						
	情報と法	2前		2								1	
	基礎数学演習	1前		2		1							
	データ分析基礎	2前		2			1						
	プログラミング基礎	1後		2		1							
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2		1							
	経営情報システム論	2前		2		1							
	マルチメディア通信論	2前		2		1							
	ロジカルシンキング演習	1後		2		3	1						
	経営戦略論	2前		2		1							
	経営管理論	2前		2								1	
	地域経営論	2後		2								1	
	サービスマーケティング	2後		2								1	
	簿記基礎	2後		4								1	
	コンピュータ会計	3後		2		1							
	経営組織論	3後		2								1	
	アントレプレナーシップ	3前		2								1	
	人材マネジメント	3後		2								1	
	財務管理論	3後		2								1	
	地域産業論	3後		2				1					
	経済理論	2前		2			1						
	金融論	2後		2								1	
	経営科学	3前		2			1						
	応用統計学	2前		2			1						
	経営情報論	2後		2		1							
	経済データ分析	2前		2				1					
	データ分析応用	3後		2				1					
	データマーケティング	3後		2								1	
	データベース論	2後		2			1						
	オペレーティングシステム論	2後		2			1						
	通信ネットワーク論	2後		2			1						
	地域ICT戦略論	2後		2								1	
	プログラミング応用	3前		2								1	
	情報システム管理論	3前		2			1						
	情報システム設計論	3後		2			1						
	情報マネジメントセミナー	2通		4			6	2	1	1			
ゼミナールⅠ	3通		4			6	2	1	1				
ゼミナールⅡ	4通		4			6	2	1	1				
卒業研究	4通		4			6	2	1	1				
情報マネジメント特別科目Ⅰ(経営システム)	1前		2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)	1後		2				1			1			
情報マネジメント特別科目Ⅲ(プログラミング)	2前		2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅳ(情報システム)	2後		2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅴ(人工知能)	3前		2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅵ(地域産業)(未開講)	3後		2				1						
小計(50科目)	-												
合計(90科目)													
卒業要件及び履修方法													
基本教育科目の必修科目14単位、選択科目から30単位以上、 専門教育科目の必修科目32単位、選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上で修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))													

基本教育科目の必修科目14単位、選択科目から30単位以上、
専門教育科目の必修科目32単位、選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							重 任 ・ 兼 任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 手	助 手	重 任 ・ 兼 任		
			単 位	単 位	単 位	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数		
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2			1	1						4
	情報活用法Ⅱ	1前	2			1							1
	情報社会学	1後	2	2									
	基礎統計学	1前	2					1					
	基礎数学	1前	2			1							
	日本語技法A	1前	2										3
	日本語技法B	1後	2	2									2
	英語A	1前	2										5
	英語B	1後	2										5
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前	2	2									4
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後	2	2									4
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4前	2	2									1
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後	2	2									1
	中国語AⅠ	1・2・3・4前	2	2									2
	中国語AⅡ	1・2・3・4後	2	2									2
	中国語BⅠ	1・2・3・4前	2	2									1
	中国語BⅡ	1・2・3・4後	2	2									1
	キャリア設計	1後	2	2									1
	キャリア開発	2通	2	2									1
	キャリア研究	3前	2	2									1
	国際体験研修	1・2・3・4通	2	2									1
	海外語学研修	1・2・3・4通	2	2									1
	異文化体験研修	1・2・3・4通	2	2									1
	フレッシュマンセミナー	1通	4			3	1			2			
	いのまき学	1前	2										1
	復興ボランティア学	1・2・3・4前	2			1							
	ボランティア論	1・2・3・4後	2	2									1
	ボランティア演習	2・3・4後	2	2									
	総合科目（未開講）	1・2・3・4前	2			1							
	日本と世界の歴史	1・2・3・4前	2										1
	文化の理解	1・2・3・4後	2										1
	哲学-知の起源-	1・2・3・4前	2										1
	心理学-心の科学-	1・2・3・4前	2										1
	社会学の世界	1・2・3・4前	2										1
	法と社会	1・2・3・4前	2										2
	法と人権	1・2・3・4後	2										1
地域と政策	1・2・3・4後	2										1	
生命と地球	1・2・3・4前	2										1	
環境と科学	1・2・3・4後	2										1	
健康科学と身体運動	1・2・3・4前	2										3	
小計（40科目）	-												
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2			1							
	会計学入門	1前	2	2		1							
	マーケティング入門	1後	2					1					1
	マーケティングリサーチ	2前	2	2									1
	ビジネスと情報	1後	2			1							
	情報と法（未開講）	2前	2										1
	基礎数学演習	1前	2	2		1							
	データ分析基礎	2前	2	2			1						
	プログラミング基礎	1後	2			1							
	アルゴリズムとデータ構造	2前	2	2		1							
	経営情報システム論	2前	2	2		1							
	マルチメディア通信論	2前	2			1							
	ロジカルシンキング演習	1後	2			3	1						
	経営戦略論	2前	2	2		1							
	経営管理論	2前	2	2		1							
	地域経営論	2後	2	2		1							1
	サービスマーケティング	2後	2	2		1							1
	簿記基礎	2後	2	4									1
	コンピュータ会計	3後	2			1							
	経営組織論	3後	2	2									1
	アントレプレナーシップ	3後	2	2									1
	人材マネジメント	3前	2	2									1
	財務管理論	3後	2	2									1
	地域産業論	3後	2	2				1					
	経済理論	2前	2	2				1					
	金融論	2後	2	2									1
	経営科学	3前	2	2		1							
	応用統計学	2前	2	2			1						
	経営情報論	2後	2	2		1							
	経済データ分析	2後	2	2				1					
	データ活用応用	3前	2	2				1			1		
	データマーケティング	3後	2	2									1
	データベース論	2後	2	2		1							
	オペレーティングシステム論	2後	2	2		2							
	通信ネットワーク論	2後	2	2		1							
	地域ICT戦略論	2後	2	2								1	
プログラミング応用	3前	2	2								1		
情報システム管理論	3前	2	2			1							
情報システム設計論	3後	2	2			1							
情報マネジメントセミナー	2通	4			6	2			2	2			
ゼミナールⅠ	3通	4			6	2			2	2			
ゼミナールⅡ	4通	4			6	2			2	2			
卒業研究	4通	4			6	2			2	2			
情報マネジメント特別科目Ⅰ（経営システム）	1前	2			1								
情報マネジメント特別科目Ⅱ（データ分析）（未開講）	1後	2	2			1				1			
情報マネジメント特別科目Ⅲ（プログラミング）（未開講）	2前	2	2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅳ（情報システム）	2後	2	2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅴ（人工知能）	3前	2	2			1							
情報マネジメント特別科目Ⅵ（地域産業）	3後	2	2				1						
小計（50科目）	-												
合計（90科目）													
卒業要件及び履修方法													
基本教育科目の必修科目14単位、選択科目から30単位以上、 専門教育科目の必修科目32単位、選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：40単位（年間））													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任教員
			必修	選択	教養	専門	専任講師	専任助教	准	助	実用	
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2			1	1					
	情報活用法Ⅱ	1前	2			1					4	
	情報社会学	1後		2							1	
	基礎統計学	1前	2				1					
	基礎数学	1前				1						
	日本語技法A	1前									3	
	日本語技法B	1前	2								5	
	英語A	1後	2								5	
	英語B	1後	2								4	
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前	2								5	
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後	2								4	
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4後	2								1	
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後	2								1	
	中国語AⅠ	1・2・3・4前	2								1	
	中国語AⅡ	1・2・3・4後	2								2	
	中国語BⅠ	1・2・3・4後	2								1	
	中国語BⅡ	1・2・3・4後	2								1	
	キャリア設計	1後	2								1	
	キャリア開発	2通	2								1	
	キャリア研究	3前	2								1	
	国際体験研修	1・2・3・4通	2								1	
	海外語学研修	1・2・3・4通	2								1	
	異文化体験研修	1・2・3・4通	2								1	
	フレッシュマンセミナー	1通	4			3	1		1			
	いしのまき学	1前	2								1	
	復興ボランティア学	1・2・3・4前	2			1						
	ボランティア論	1・2・3・4後	2								1	
	ボランティア演習	2・3・4後	2								1	
	総合科目(未開講)	1・2・3・4前	2			1						
	日本と世界の歴史A	1・2・3・4前	2								1	
文化の理解	1・2・3・4後	2								1		
哲学-知の起源-	1・2・3・4前	2								1		
心理学-心の科学-	1・2・3・4前	2								1		
社会学の世界	1・2・3・4前	2								1		
法と社会	1・2・3・4前	2								2		
法と人権	1・2・3・4後	2								1		
地域と政策	1・2・3・4後	2								1		
生命と地球	1・2・3・4後	2								1		
環境と科学	1・2・3・4後	2								1		
健康科学と身体運動	1・2・3・4前	2								4		
小計(40科目)	-	-										
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2			1						
	会計学入門	1前		2		1						
	マーケティング入門	1後	2				1				1	
	マーケティングリサーチ	2前		2							1	
	経済学入門	1後	2				1					
	ビジネスと情報	1後	2			1						
	情報と法(未開講)	2前		2							1	
	基礎数学演習	1前	2			1						
	データ分析基礎	2前		2			1					
	プログラミング基礎	1後	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任 科目
			必修	選択	自由	履修	専任 教授	助教	助手		
基 本 教 育 科 目	情報活用法Ⅰ	1前	2			1			1		
	情報活用法Ⅱ	1前	2			1				4	
	情報社会論	1後		2						1	
	基礎統計学	1前	2				1				
	基礎数学	1前				1					
	日本語技法A	1前	2							1	
	日本語技法B	1後	2							1	
	英語A	1前	2							5	
	英語B	1後	2							5	
	英語コミュニケーションA	1・2・3・4前	2							4	
	英語コミュニケーションB	1・2・3・4後	2								
	英語コミュニケーションC	1・2・3・4前	2							1	
	英語コミュニケーションD	1・2・3・4後	2							1	
	中国語AⅠ	1・2・3・4前	2							2	
	中国語AⅡ	1・2・3・4後	2							2	
	中国語BⅠ	1・2・3・4前	2							1	
	中国語BⅡ	1・2・3・4後	2							1	
	キャリア設計	1後	2							1	
	キャリア開発	2通	2							1	
	キャリア研究	3前	2							1	
	国際体験研修	1・2・3・4通	2							1	
	海外語学研修	1・2・3・4通	2							1	
	異文化体験研修	1・2・3・4通	2							1	
	フレッシュマンセミナー	1通	4			3			2		
	いしのまき学	1前	2							1	
	復興ボランティア学	1・2・3・4前	2							1	
	ボランティア論	1・2・3・4後	2							1	
	ボランティア演習	2・3・4後	2							1	
	総合科目（未開講）	1・2・3・4前	2			1					
	日本と世界の歴史	1・2・3・4前	2							1	
	文化の理解	1・2・3・4後	2							1	
	哲学-知の起源-	1・2・3・4前	2							1	
	心理学-心の科学-	1・2・3・4前	2							1	
	社会学の世界	1・2・3・4前	2							1	
	法と社会	1・2・3・4前	2							2	
	法と人権	1・2・3・4後	2							1	
地域と政策	1・2・3・4後	2							1		
生命と地球	1・2・3・4前	2							1		
環境と科学	1・2・3・4後	2							1		
健康科学と身体運動	1・2・3・4前	2							4		
小計(40科目)											
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1前	2			1					
	会計学入門	1前		2		1					
	マーケティング入門	1後	2				1			1	
	マーケティングリサーチ	2前		2						1	
	経済学入門	1後	2				1				
	ビジネスと情報	1後	2			1					
	情報と法	2前		2						1	
	基礎数学演習	1前	2			1					
	データ分析基礎	2前		2				1			
	プログラミング基礎	1後	2			1					
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2		1					
	経営情報システム論	2前		2		1					
	マルチメディア通信論	2前		2		1					
	ロジカルシンキング演習	1後	2								

・認可申請書又は設置届出書の様式第2号（第2の1）に準じて作成してください。

・各欄の作成方法に「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。

・認可時又は届出時には 設置届出書と届出届出の授課科目表（兼任・兼助科目が担当する科目を含む。）を
黒で記入してください。その上で、各年度については、認可時は届出時から変更とならない科目は**赤の赤字**としてください。

・履修希望者が、なかつたために未開講となつた科目については科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。

・1ページ目は認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

（2つの表が1ページに表示できるようにしてください。）

・専門職学士等の場合、「実験、実習又は技能」に係る授課科目には「※」、施設実務実習には授課科目には「【施設】」
「施設実務実習」による授課科目には「【実技】」授課科目の名称の欄に例記してください。

・指定規則の改正により、新旧科目表を行って実施している場合は、新旧科目表についても記載してください。
その場合は、新科目表を全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧が異なる年度については、その別がわかるように各年度の右欄に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載欄）認可時又は届出時（新）～令和7年度（新）～令和6年度（新）～令和5年度～令和4年度～令和3年度～令和2年度～令和1年度～令和0年度（旧）

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・「情報活用法Ⅱ」は、誤記により届出時の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「基礎数学」は、誤記により届出時の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業展開数増により、「英語A」の担当教員を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・授業展開数増により、「英語B」の担当教員を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・授業展開数増により、「英語コミュニケーションA」の担当教員を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・授業展開数増により、「英語コミュニケーションB」の担当教員を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・「ビジネスと情報」は、誤記により専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「ロジカルシンキング演習」は、誤記により専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「経営科学」は、誤記により専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「プログラミング応用」は、誤記により専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・「情報マネジメントセミナー」は、誤記により専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「ゼミナールⅠ」は、誤記により専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「ゼミナールⅡ」は、誤記により専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「卒業研究」は、誤記により専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。

【令和4年度】

- ・「情報活用法Ⅰ」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・「日本語法A」は、授業展開数増により担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「日本語法B」は、授業展開数増により担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「復興ボランティア学」は、担当教員の退職により専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「フレッシュマンセミナー」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「データ分析基礎」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・「地域産業論」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・「データ分析応用」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・「情報マネジメントセミナー」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「ゼミナールⅠ」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「ゼミナールⅡ」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「卒業研究」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「情報マネジメント特別科目Ⅶ（地域産業）」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。

【令和5年度】

- ・「英語コミュニケーションA」は、授業展開数の見直しにより担当教員を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・「フレッシュマンセミナー」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「健康科学と身体運動」は、授業展開数の見直しにより担当教員を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「データ分析応用」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「ゼミナールⅠ」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「ゼミナールⅡ」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「卒業研究」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「情報マネジメント特別科目Ⅱ（データ分析）」は、専任教員の採用により専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。

【令和6年度】

- ・「フレッシュマンセミナー」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「地域ICT戦略論」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・「情報マネジメントセミナー」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「プログラミング応用」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・「ゼミナールⅠ」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「ゼミナールⅡ」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「卒業研究」は、担当教員の職位変更により専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。また、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・「法と人権」は、授業展開数増により担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

【令和7年度】

- ・「情報活用法Ⅰ」は、授業展開数の見直しにより専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・「基礎統計学」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。また、担当教員を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「日本語法A」は、授業コマ数調整及び時間割編成により担当教員を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「英語A」は、授業コマ数調整及び時間割編成により担当教員を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・「英語B」は、授業コマ数調整及び時間割編成により担当教員を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・「フレッシュマンセミナー」は、授業展開数の見直しにより専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・「マーケティング入門」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。また、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・「経済学入門」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。また、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・「金融論」は、担当教員の所属変更により専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。また、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「経済データ分析」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。また、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「ロジカルシンキング演習」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・「マルチメディア通信論」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。また、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・「情報マネジメントセミナー」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。また、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「ゼミナールⅠ」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・「ゼミナールⅡ」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・「卒業研究」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・「情報マネジメント特別科目Ⅱ（データ分析）」は、授業コマ数調整及び時間割編成により専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧がカリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	71 科目	0 科目	90 科目	19 科目 [0]	71 科目 [0]	0 科目 [0]	90 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、

学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{90} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	133,108㎡	0㎡	0㎡	133,108㎡				
	運動場用地	131,043㎡	0㎡	0㎡	131,043㎡				
	小 計	264,151㎡	0㎡	0㎡	264,151㎡				
	そ の 他	158,458㎡	0㎡	0㎡	158,458㎡				
	合 計	422,609㎡	0㎡	0㎡	422,609㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	40,105㎡ (40,105㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	40,105㎡ (40,150㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・演習室、実験実習室 R4理工学部改組に伴う回収による室数変更、教育研究に必要な教室等は整備しており支障はない。(4) ・情報処理学習施設 大学全体(情報処理学習施設の8室)に語学学習機能あり			
	31室	22 23室	52 51室	8室 (補助職員 2 人)	0室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員1名追加採用のため(5)			
	経営学部 情報マネジメント学科			10 9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 <図書、学術雑誌> 購入廃棄等による増減(4) 購入廃棄等による増減(5) 購入廃棄等による増減(6) 購入廃棄等による増減(7)	
	経営学部情報マ ネジメント学科	186,777 [64,323]	2,197 [882]	63 [63]	2,383	30	0		
		(189,381 [63,990]) (188,758 [63,899]) (186,849 [63,747]) (186,030 [63,597]) (182,777 [63,323])	(2,136 [819]) (2,163 [819]) (2,197 [882])	(36 [36]) (28 [28]) (40 [40]) (42 [42]) (63 [63])	(2,266) (2,261) (2,257) (2,247) (2,263)	30	0		
		計	186,777 [64,323]	2,197 [882]	63 [63]	2,383	30		0
		(189,381 [63,990]) (188,758 [63,899]) (186,849 [63,747]) (186,030 [63,597]) (182,777 [63,323])	(2,136 [819]) (2,163 [819]) (2,197 [882])	(36 [36]) (28 [28]) (40 [40]) (42 [42]) (63 [63])	(2,266) (2,261) (2,257) (2,247) (2,263)	30	0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,496㎡		261		約200,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,188㎡		雨天体育場		テニスコート 弓道場				
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※共同研究費は大学全体
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	25,416千円	25,416千円	25,416千円	※図書購入費は属出学科を含む学部全体
	共同研究費等	15,200千円	15,200千円	設備購入費	20,000千円	0千円	0千円	※図書購入費には電子ジャーナル・データベースの運用コスト含む	
		学生1人当り 納付金	第1年次 1,240千円 1,210千円	第2年次 998千円 980千円	第3年次 998千円 980千円	第4年次 1,013千円 980千円	第5年次 - 千円	第6年次 - 千円	※設備購入費は属出学科分
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等					
		施設対応のため(5)							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
理工学部	4	170	—	680	—	0.79	—	—	—	—				
食環境学科	4	—	—	0	学士(工学)	—	—	—	平成25	宮城県石巻市南境新水戸1番地	令和4年学生募集停止			
生物科学科	4	91	—	364	学士(理学)	0.98	—	—	平成25	同上	令和4年定員変更 (36)			
機械工学科	4	40	—	160	学士(工学)	0.44	—	—	平成元	同上				
情報電子工学科	4	39	—	156	学士(工学)	0.68	—	—	平成元	同上	令和4年定員変更 (4)			
経営学部	4	190	—	760	—	0.62	—	—	—	—				
経営学科	4	145	—	580	学士(経営学)	0.67	—	—	平成元	宮城県石巻市南境新水戸1番地				
情報マネジメント学科	4	45	—	180	学士(経営学)	0.47	—	—	令和3	同上				
人間学部	4	80	—	320	—	0.59	—	—	—	—				
人間文化学科	4	40	—	160	学士(人間文化学)	0.64	—	—	平成25	宮城県石巻市南境新水戸1番地				
人間教育学科	4	40	—	160	学士(人間教育学)	0.54	—	—	平成25	同上				
大学全体	4	440	—	1,760	—	—	—	—	—	—				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご確認ください。

(1) ① 担当教員表

16

専	准教授	関口 駿輔 (39) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）	専	准教授	関口 駿輔 (41) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）	専	准教授	中山 慶子 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	専	准教授	中山 慶子 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	専	准教授	中山 慶子 (36) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）
専	助教	渡邊 壽太 (38) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）	専	助教	渡邊 壽太 (40) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）	専	助教	岩瀬 巧 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）	専	助教	岩瀬 巧 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）	専	助教	岩瀬 巧 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）
		情報活用法Ⅰ データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）			情報活用法Ⅰ データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）			情報活用法Ⅰ データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）			情報活用法Ⅰ データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）			情報活用法Ⅰ データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）
専	助教	三橋 勇太 (28) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）	専	助教	三橋 勇太 (30) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）	専	助教	三橋 勇太 (31) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）	専	講師	三橋 勇太 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）	専	講師	三橋 勇太 (33) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）
		フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究			フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究			フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究			フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究			フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究
						専	助教	小松 真治 (29) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）	専	助教	小松 真治 (30) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）	専	助教	小松 真治 (31) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）
								フレッシュマンセミナー データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			フレッシュマンセミナー データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）			フレッシュマンセミナー データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ （データ分析）
兼担	教授	大坂 良宏 (67) ＜令和3年4月＞ 経営学修士	兼担	教授	大坂 良宏 (69) ＜令和3年4月＞ 経営学修士	兼担	教授	大坂 良宏 (70) ＜令和3年4月＞ 経営学修士	兼任	講師	平塚 智 (58) ＜令和8年4月＞ 学士（経営学）	兼任	講師	平塚 智 (59) ＜令和8年4月＞ 学士（経営学）
		財務管理論			財務管理論			財務管理論			財務管理論			財務管理論
兼担	教授	庄子 真峰（三浦） (43) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）	兼担	教授	庄子 真峰（三浦） (45) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）	兼担	教授	庄子 真峰（三浦） (46) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）	兼担	教授	庄子 真峰（三浦） (47) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）	兼担	教授	庄子 真峰（三浦） (48) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）
		地域経営論			地域経営論			地域経営論			地域経営論			地域経営論
兼担	教授	杉田 博 (51) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）	兼担	教授	杉田 博 (53) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）	兼担	教授	杉田 博 (54) ＜令和3年4月＞ 博士（経営経済学）	兼担	教授	杉田 博 (55) ＜令和3年4月＞ 博士（経営経済学）	兼担	教授	杉田 博 (56) ＜令和3年4月＞ 博士（経営経済学）
		経営管理論 経営組織論			経営管理論 経営組織論 アントレプレナーシップ			経営管理論 経営組織論 アントレプレナーシップ			経営管理論 経営組織論			経営管理論 経営組織論 アントレプレナーシップ
兼担	教授	三森 敏正 (59) ＜令和3年4月＞ 法学修士	兼担	教授	三森 敏正 (61) ＜令和3年4月＞ 法学修士	兼担	教授	三森 敏正 (62) ＜令和3年4月＞ 法学修士	兼担	教授	三森 敏正 (63) ＜令和3年4月＞ 法学修士	兼担	教授	三森 敏正 (64) ＜令和3年4月＞ 法学修士
		法と社会 法と人権 情報と法			法と社会 法と人権 情報と法			法と社会 法と人権 情報と法			法と社会 法と人権			法と社会 法と人権
									兼担	教授	矢嶋 均 (63) ＜令和8年4月＞ 法学修士	兼担	教授	矢嶋 均 (64) ＜令和8年4月＞ 法学修士
											法と人権 情報と法			法と人権 情報と法
兼担	教授	茂木 克昭 (65) ＜令和3年4月＞ 経済学士	兼担	教授	茂木 克昭 (67) ＜令和3年4月＞ 経済学士	兼担	教授	茂木 克昭 (68) ＜令和3年4月＞ 経済学士	兼担	教授	茂木 克昭 (69) ＜令和3年4月＞ 経済学士	兼担	教授	茂木 克昭 (47) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）
		金融論			金融論			金融論			金融論			簿記基礎
兼担	教授	山崎 泰央 (53) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）												
		復興ボランティア学 アントレプレナーシップ												
兼担	准教授	田村 真介 (42) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）	兼担	准教授	田村 真介 (44) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）	兼担	准教授	田村 真介 (45) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）	兼担	准教授	田村 真介 (46) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）	兼担	准教授	田村 真介 (47) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）
		簿記基礎			簿記基礎			簿記基礎			簿記基礎			簿記基礎

兼任	助教	稲葉 健太郎 (34) ＜令和3年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）	兼任	助教	稲葉 健太郎 (36) ＜令和3年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）	兼任	助教	稲葉 健太郎 (37) ＜令和3年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）	兼任	准教授	稲葉 健太郎 (38) ＜令和3年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）	兼任	准教授	稲葉 健太郎 (39) ＜令和3年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）
		キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント			キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント			キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント			キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント			キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント
兼任	助教	佐藤 平国 (27) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）	兼任	教授	幸 京廣 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）	兼任	教授	幸 京廣 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）	兼任	教授	幸 京廣 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）	兼任	教授	幸 京廣 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）
		情報活用法Ⅱ マーケティング入門 マーケティングリサーチ サービスマーケティング データマーケティング			マーケティング入門 サービスマーケティング データマーケティング			マーケティング入門 サービスマーケティング			マーケティング入門 サービスマーケティング			マーケティング入門 サービスマーケティング
						兼任	助教	森 喜文 (28) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）	兼任	助教	森 喜文 (27) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）			
								データマーケティング マーケティングリサーチ			アントレプレナーシップ			
									兼任	講師	菅原 沖 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（環境科学）	兼任	講師	菅原 沖 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（環境科学）
											データマーケティング マーケティングリサーチ			基礎統計学 データマーケティング マーケティングリサーチ
			兼任	講師	見山 健一郎 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（経営学）									
					マーケティングリサーチ									
兼任	教授	水野 純 (50) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	水野 純 (52) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	水野 純 (53) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	水野 純 (54) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	水野 純 (55) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修			国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修			国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修			国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修			国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修
兼任	教授	西方 守 (68) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	西方 守 (70) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	西方 守 (71) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	西方 守 (72) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	野田 徹文 (34) ＜令和7年4月＞ 修士（文学修士）
		哲学-知の起源-			哲学-知の起源-			哲学-知の起源-			哲学-知の起源-			哲学-知の起源-
兼任	教授	根本 泉 (60) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	大橋 道子 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	長谷川 香子 (55) ＜令和5年4月＞ （M.A.）文学修士	兼任	助教	阿部 純 (31) ＜令和6年4月＞ 修士（国際文化）	兼任	助教	阿部 純 (32) ＜令和6年4月＞ 修士（国際文化）
		英語A 英語B			英語B			英語A 英語B			英語A 英語B			英語A 英語B
			兼任	講師	弓谷 行宏 (56) ＜令和3年4月＞ 博士（Ph.D. Linguistics）									
					英語A 英語B									
			兼任	講師	佐藤 康紀 (53) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	佐藤 康紀 (54) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	佐藤 康紀 (55) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	佐藤 康紀 (56) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
					英語A 英語B			英語A 英語B			英語A 英語B 英語コミュニケーションB			英語A 英語B 英語コミュニケーションB
兼任	教授	山内 武巳 (52) ＜令和3年4月＞ 博士（体育学）	兼任	助教	高橋 功祐 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	高橋 功祐 (33) ＜令和3年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	高橋 功祐 (34) ＜令和3年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	高橋 功祐 (35) ＜令和3年4月＞ 修士（体育学）
		健康科学と身体運動			健康科学と身体運動			健康科学と身体運動			健康科学と身体運動			健康科学と身体運動
兼任	教授	輪田 直子（小尾） (51) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	輪田 直子（小尾） (53) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	輪田 直子（小尾） (54) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	輪田 直子（小尾） (55) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	輪田 直子（小尾） (56) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）
		中国語AⅠ 中国語AⅡ 中国語BⅠ 中国語BⅡ			中国語BⅠ 中国語BⅡ			中国語BⅠ 中国語BⅡ			中国語BⅠ 中国語BⅡ			中国語BⅠ 中国語BⅡ
			兼任	講師	富原 健一 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	富原 健一 (60) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	富原 健一 (61) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	富原 健一 (62) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					中国語AⅠ 中国語AⅡ			中国語AⅠ 中国語AⅡ			中国語AⅠ 中国語AⅡ			中国語AⅠ 中国語AⅡ
兼任	教授	柳 明 (60) ＜令和3年4月＞ 理学博士	兼任	教授	依田 清風 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	依田 清風 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	依田 清風 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	依田 清風 (63) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		生命と地球			生命と地球			生命と地球			生命と地球			生命と地球
兼任	教授	横江 信一 (63) ＜令和3年4月＞ 教育学士	兼任	教授	横江 信一 (64) ＜令和3年4月＞ 教育学士	兼任	教授	横江 信一 (65) ＜令和3年4月＞ 教育学士	兼任	教授	横江 信一 (66) ＜令和3年4月＞ 教育学士	兼任	教授	横江 信一 (67) ＜令和3年4月＞ 教育学士
		いしのまき学 地域と政策			地域と政策			地域と政策			地域と政策			地域と政策
			兼任	教授	丸岡 泰 (55) ＜令和3年4月＞ 博士（国際関係論）	兼任	教授	遠藤 郁子 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	遠藤 郁子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	亀谷 裕敬 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
					いしのまき学			いしのまき学			いしのまき学			いしのまき学
兼任	准教授	佐々木 慶文 (52) ＜令和3年4月＞ 博士（情報科学）	兼任	教授	佐々木 慶文 (54) ＜令和3年4月＞ 博士（情報科学）	兼任	准教授	関 忠道 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	関 忠道 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	関 忠道 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		情報社会論			情報社会論			情報社会論			情報社会論			情報社会論

兼任 助教	杉浦 ちなみ (31) ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	社会学の世界
兼任 助教	中川 薫 (47) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	環境と科学
兼任 助教	目黒 志帆美 (43) ＜令和3年4月＞ 博士（国際文化）	英語A 英語B 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任 助教	佐藤 誠子 (38) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	心理学-心の科学-
兼任 講師	宮岡 孝之 (64) ＜令和3年4月＞ 法学士	法と社会
兼任 講師	安富 雅裕 (67) ＜令和3年4月＞ 学士（文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	佐々木 淳 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	日本と世界の歴史
兼任 講師	佐藤 正幸 (62) ＜令和3年4月＞ 社会学士	ポランティア論 ポランティア演習
兼任 講師	設楽 宏二 (63) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語A 英語B
兼任 講師	設楽 レベッカ・リン (63) ＜令和3年4月＞ 学士（教育学）、学士（ドイツ語文学）	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD
兼任 講師	柴田 和枝 (61) ＜令和3年4月＞ 国際文化学修士	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任 講師	隅田 翔 (37) ＜令和3年4月＞ 学士（経営学）	健康科学と身体運動
兼任 講師	高間 章 (43) ＜令和3年4月＞ 修士（スポーツ科学）	健康科学と身体運動
兼任 講師	千葉 一 (60) ＜令和3年4月＞ （M.A）経済学修士（印度）	文化の理解
兼任 講師	杉浦 ちなみ (32) ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	社会学の世界
兼任 助教	中川 薫 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	環境と科学
兼任 助教	目黒 志帆美 (45) ＜令和3年4月＞ 博士（国際文化）	英語A 英語コミュニケーションA
兼任 助教	佐藤 誠子 (40) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）	心理学-心の科学-
兼任 講師	宮岡 孝之 (66) ＜令和3年4月＞ 法学士	法と社会
兼任 講師	尾崎 登治 (27) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	百井 順子 (60) ＜令和4年4月＞ 修士（日本文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	出藤 映野 (25) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	日本語技法A
兼任 講師	佐々木 淳 (62) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	日本と世界の歴史
兼任 講師	堀井 雅久 (71) ＜令和3年4月＞ 博士（社会福祉学）	ポランティア論 ポランティア演習
兼任 講師	斎藤 康隆 (47) ＜令和3年4月＞ 準学士	ポランティア演習
兼任 講師	設楽 宏二 (65) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語A 英語B
兼任 講師	設楽 レベッカ・リン (65) ＜令和3年4月＞ 学士（教育学）、学士（ドイツ語文学）	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD
兼任 講師	柴田 和枝 (63) ＜令和3年4月＞ 国際文化学修士	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任 講師	隅田 翔 (40) ＜令和3年4月＞ 学士（経営学）	健康科学と身体運動
兼任 講師	菅原 大志 (28) ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	健康科学と身体運動
兼任 講師	千葉 一 (62) ＜令和3年4月＞ （M.A）経済学修士（印度）	文化の理解
兼任 助教	高橋 伸 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）	社会学の世界
兼任 助教	中川 薫 (49) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	環境と科学
兼任 講師	大塚 一弘 (42) ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）	心理学-心の科学-
兼任 講師	宮岡 孝之 (67) ＜令和3年4月＞ 法学士	法と社会
兼任 講師	尾崎 登治 (28) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	百井 順子 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（日本文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	工藤 真子 (25) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	日本語技法A
兼任 講師	佐々木 淳 (63) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	日本と世界の歴史
兼任 講師	堀井 雅久 (72) ＜令和3年4月＞ 博士（社会福祉学）	ポランティア論 ポランティア演習
兼任 講師	斎藤 康隆 (48) ＜令和3年4月＞ 準学士	ポランティア演習
兼任 講師	設楽 宏二 (67) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語A 英語B
兼任 講師	設楽 レベッカ・リン (67) ＜令和3年4月＞ 学士（教育学）、学士（ドイツ語文学）	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD
兼任 講師	柴田 和枝 (64) ＜令和3年4月＞ 国際文化学修士	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任 講師	隅田 翔 (41) ＜令和3年4月＞ 学士（経営学）	健康科学と身体運動
兼任 助教	西川 肇 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	文化の理解
兼任 助教	高橋 伸 (40) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）	社会学の世界
兼任 助教	中川 薫 (50) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	環境と科学
兼任 講師	大塚 一弘 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）	心理学-心の科学-
兼任 講師	宮岡 孝之 (68) ＜令和3年4月＞ 法学士	法と社会
兼任 講師	藤又 孝那 (27) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	百井 順子 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（日本文学）	日本語技法A 日本語技法B
兼任 講師	佐々木 淳 (65) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）	日本と世界の歴史
兼任 講師	阿部 由紀 (57) ＜令和6年4月＞ 準学士	ポランティア論 ポランティア演習
兼任 講師	斎藤 康隆 (50) ＜令和3年4月＞ 準学士	ポランティア演習
兼任 講師	設楽 宏二 (68) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語A 英語B
兼任 講師	設楽 レベッカ・リン (68) ＜令和3年4月＞ 学士（教育学）、学士（ドイツ語文学）	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD
兼任 講師	柴田 和枝 (66) ＜令和7年4月＞ 国際文化学修士	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任 講師	隅田 翔 (42) ＜令和3年4月＞ 学士（経営学）	健康科学と身体運動
兼任 助教	西川 肇 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	文化の理解

兼任	講師	千葉 泰伸 (49) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）	健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (64) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士	中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (59) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語 A 英語 B
兼任	講師	星 かおり (44) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B
兼任	講師	齋藤 サラベス (35) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B 英語 A 英語 B
兼任	講師	小園 一雄 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B

兼任	講師	千葉 泰伸 (51) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）	健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (66) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士	中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (61) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語 A 英語 B
兼任	講師	齋藤 サラベス (36) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B 英語 A 英語 B
兼任	講師	小園 一雄 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B

兼任	講師	千葉 泰伸 (52) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）	健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (67) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士	中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (62) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語 A 英語 B
兼任	講師	齋藤 サラベス (38) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B 英語 A 英語 B
兼任	講師	小園 一雄 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B

兼任	講師	千葉 泰伸 (53) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）	健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (68) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士	中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (63) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語 A 英語 B 英語コミュニケーション A
兼任	講師	齋藤 サラベス (37) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B 英語 A 英語 B
兼任	講師	小園 一雄 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B

兼任	講師	千葉 泰伸 (54) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）	健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (69) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士	中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (64) ＜令和3年4月＞ 文学修士	英語 A 英語 B 英語コミュニケーション A
兼任	講師	小園 一雄 (63) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	日野 博明 (66) <令和3年4月> 薬学博士
		情報活用法Ⅰ フレッシュマンセミナー プログラミング基礎 アルゴリズムとデータ構造 データベース論 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅲ (プログラミング)
専	教授	佐々木 万亀夫 (61) <令和3年4月> 理学博士
		フレッシュマンセミナー 総合科目 基礎数学演習 通信ネットワーク論 情報システム管理論 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅳ (情報システム)
専	教授	湊 信吾 (62) <令和3年4月> 博士(薬学)
		情報活用法Ⅱ マルチメディア通信論 ロジカルシンキング演習 オペレーティングシステム論 情報システム設計論 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅴ (人工知能)
専	教授	関根 慎吾 (57) <令和3年4月> 商学修士
		会計学入門 ロジカルシンキング演習 コンピュータ会計 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究
専	教授	工藤 周平 (42) <令和3年4月> 博士(経営学)
		フレッシュマンセミナー 経営学入門 経営情報システム論 経営情報論 経営情報論 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅰ (経営システム)
専	教授	浅沼 大樹 (41) <令和3年4月> 博士(経済学)
		基礎数学 ビジネスと情報 ロジカルシンキング演習 経営科学 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究
専	准教授	関口 駿輔 (40) <令和3年4月> 修士(経済学)
		基礎統計学 マーケティング入門 経済学入門 ロジカルシンキング演習 経済理論 応用統計学 経済データ分析 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅱ (データ分析)

専	助教	渡邊 壽大 (39) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）
		情報活用法Ⅰ フレッシュマンセミナー データ分析基礎 地域産業論 データ分析応用 情報マネジメントセミナー ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 情報マネジメント特別科目Ⅵ （地域産業）
専	助教	三橋 勇太 (29) ＜令和3年4月＞ 修士（情報科学）
		フレッシュマンセミナー 地域ICT戦略論 情報マネジメントセミナー プログラミング応用 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究
兼担	教授	大坂 良宏 (68) ＜令和3年4月＞ 経営学修士
		財務管理論
兼担	教授	庄子 真岐（三浦） (44) ＜令和3年4月＞ 博士（経済学）
		地域経営論
兼担	教授	杉田 博 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）
		経営管理論 経営組織論
兼担	教授	三森 敏正 (60) ＜令和3年4月＞ 法学修士
		法と社会 法と人権 情報と法
兼担	教授	茂木 克昭 (66) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		金融論
兼担	教授	山崎 泰央 (54) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）
		復興ボランティア学 アントレプレナーシップ
兼担	准教授	田村 真介 (43) ＜令和3年4月＞ 博士（経営学）
		簿記基礎
兼担	助教	稲葉 健太郎 (35) ＜令和3年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 人材マネジメント
兼担	助教	佐藤 平国 (28) ＜令和3年4月＞ 修士（経営学）
		マーケティング入門 マーケティングリサーチ サードマーケティング データマーケティング

兼担	教授	水野 純 (51) <令和3年4月> 博士(工学)
		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修
兼担	教授	西方 守 (69) <令和3年4月> 博士(教育学)
		哲学-知の起源-
兼任	講師	月谷 行宏 (65) <令和3年4月> 博士 (Ph. D. Linguistics)
		英語A 英語B

兼任	講師	佐藤 麻紀 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		英語A 英語B
兼任	助教	高橋 功祐 (31) ＜令和3年4月＞ 修士（体育学）
		健康科学と身体運動
兼任	教授	輪田 直子（小尾） (52) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）
		中国語AⅠ 中国語AⅡ 中国語BⅠ 中国語BⅡ
兼任	教授	柳 明 (63) ＜令和3年4月＞ 理学博士
		生命と地球
兼任	教授	横江 信一 (63) ＜令和3年4月＞ 教育学士
		地域と政策
兼任	教授	丸岡 崇 (54) ＜令和3年4月＞ 博士（国際関係論）
		いのまき学
兼任	教授	佐々木 慶文 (53) ＜令和3年4月＞ 博士（情報科学）
		情報社会論
兼任	講師	杉浦 ちなみ (31) ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）
		社会学の世界
兼任	准教授	中川 茜 (47) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）
		環境と科学
兼任	助教	目黒 志帆美 (44) ＜令和3年4月＞ 博士（国際文化）
		英語A 英語B 英語コミュニケーションA
兼任	准教授	佐藤 誠子 (39) ＜令和3年4月＞ 博士（教育学）
		心理学-心の科学-
兼任	講師	宮岡 孝之 (65) ＜令和3年4月＞ 法学士
		法と社会
兼任	講師	安齋 雅裕 (68) ＜令和3年4月＞ 学士（文学）
		日本語技法A 日本語技法B

兼任	講師	佐々木 淳 (61) ＜令和3年4月＞ 博士（文学）
		日本と世界の歴史
兼任	講師	藤井 雅久 (70) ＜令和3年4月＞ 博士（社会福祉学）
		ボランティア論
兼任	講師	斎藤 康隆 (46) ＜令和3年4月＞ 専攻士
		ボランティア実習
兼任	講師	設楽 宏二 (64) ＜令和3年4月＞ 文学修士
		英語 A 英語 B
兼任	講師	設楽 レベッカ・リン (64) ＜令和3年4月＞ 学士（教育学）・学士（ドイツ 語文学）
		英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B 英語コミュニケーション C 英語コミュニケーション D
兼任	講師	柴田 和枝 (62) ＜令和3年4月＞ 国際文化学修士
		英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B
兼任	講師	三上 由比 (39) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）
		英語コミュニケーション B
兼任	講師	隅田 翔 (38) ＜令和3年4月＞ 学士（経営学）
		健康科学と身体運動
兼任	講師	菅原 大志 (27) ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）
		健康科学と身体運動
兼任	講師	千葉 一 (61) ＜令和3年4月＞ （M.A）経済学修士（印度）
		文化の理解
兼任	講師	千葉 泰伸 (50) ＜令和3年4月＞ 学士（体育学）
		健康科学と身体運動
兼任	講師	富里 京子 (65) ＜令和3年4月＞ 社会福祉修士・情報科学修士
		中国語 A I 中国語 A II
兼任	講師	藤掛 由実子 (60) ＜令和3年4月＞ 文学修士
		英語 A 英語 B
兼任	講師	斎藤 サラベス (34) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）
		英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B
兼任	講師	阿部 純 (28) ＜令和3年4月＞ 修士（国際文化）
		英語コミュニケーション A

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

・根本 泉 兼任 教授 コロナ感染症対策や全学的に教育充実を図るため履修者数制限の見直しに伴い授業展開数増によって担当者変更により、「英語A」を弓谷 行宏 兼任 講師、佐藤 康紀 兼任 講師に変更、「英語B」を大縄 道子 兼任 教授 弓谷 行宏 兼任 講師、佐藤 康紀 兼任 講師に変更。
・山内 武巳 兼任 教授 別の兼任教員の退職に伴い担当者変更により、「健康科学と身体運動」を高橋 功祐 兼任 助教に変更。
・横江 信一 兼任 教授 全学部輪審制によって担当者変更により、「いしのまき学」を丸岡 泰 兼任 教授に変更。
・佐々木 慶文 兼任 教授 昇格に伴う職位変更。
・杉浦 ちなみ 兼任 講師 昇格に伴う職位変更。
・中川 蘭 兼任 准教授 昇格に伴う職位変更。
・佐藤 誠子 兼任 准教授 昇格に伴う職位変更。
・佐藤 正幸 兼任 講師 本人退職により、「ボランティア論」を照井 孫久 兼任 講師に変更、「ボランティア演習」を斎藤 康隆 兼任 講師に変更。
・柴田 和枝 兼任 講師 コロナ感染症対策や全学的に教育充実を図るため履修者数制限の見直しに伴い授業展開数増によって担当者変更により、「英語コミュニケーションB」の担当科目追加。
・三上 由比 兼任 講師 コロナ感染症対策や全学的に教育充実を図るため履修者数制限の見直しに伴い授業展開数増によって担当者変更により、「英語コミュニケーションB」の担当科目追加。
・目黒 志帆美 兼任 講師 コロナ感染症対策や全学的に教育充実を図るため履修者数制限の見直しに伴い授業展開数増によって担当者変更により、「英語コミュニケーションB」の担当科目削除。
・高間 章 兼任 講師 本人退職により、「健康科学と身体運動」を菅原 大志 兼任 講師に変更。
・星 かおり 兼任 講師 コロナ感染症対策や全学的に教育充実を図るため履修者数制限の見直しに伴い授業展開数増によって担当者変更により、「英語コミュニケーションA」及び「英語コミュニケーションB」を齋藤 サラベス 兼任 講師、阿部 純 兼任 講師に変更、「英語コミュニケーションB」を齋藤 サラベス 兼任 講師に変更。
・稲葉 健太郎 兼任 助教 学位取得に伴い、保有学位等の変更。

【令和4年度】

・山崎 泰央 兼任 教授退職により、「復興ボランティア学」を佐々木 万亀夫 専任 教授に変更。
・山崎 泰央 兼任 教授退職により、「アントレプレナーシップ」を杉田 博 兼任 教授に変更。
・佐藤 平国 兼任 助教退職により、「マーケティング入門」、「サービスマーケティング」及び「データマーケティング」を李 東勲 兼任 教授に変更。
・佐藤 平国 兼任 助教退職により、「マーケティングリサーチ」を見山 謙一郎 兼任 講師に変更。
・渡邊 壽大 専任 准教授 昇格に伴う職位変更。
・輪田 直子 兼任 教授 授業コマ数調整により、「中国語AⅠ」及び「中国語AⅡ」を富里 健一 兼任 講師に変更。
・柳 明 兼任 教授 授業コマ数調整により、「生命と地球」を依田 清胤 兼任 教授に変更。
・安齋 雅裕 兼任 講師退職により、「日本語技法A」を尾崎 營治 兼任 講師、百井 順子 兼任 講師、出蔵 咲野 兼任 講師に変更、「日本語技法B」を尾崎 營治 兼任 講師、百井 順子 兼任 講師に変更。
・三上 由比 兼任 講師退職により、「英語コミュニケーションB」を小関 一絵 兼任 講師に変更。
・阿部 純 兼任 講師退職により、「英語コミュニケーションA」を小関 一絵 兼任 講師に変更。

【令和5年度】

・関口 駿輔 専任 准教授退職により、「基礎統計学」、「マーケティング入門」、「経済学入門」、「ロジカルシンキング演習」、「経済理論」、「応用統計学」、「経済データ分析」、「情報マネジメントセミナー」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「卒業研究」及び「情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)」を中山 愛子 専任 准教授に変更。
・渡邊 壽大 専任 准教授退職により、「情報活用法Ⅰ」、「フレッシュマンセミナー」、「データ分析基礎」、「地域産業論」、「データ分析応用」、「情報マネジメントセミナー」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「卒業研究」及び「情報マネジメント特別科目Ⅵ(地域産業)」を岩浅 巧 専任 准教授に変更。
・小松 真治 専任 助教の採用により、「フレッシュマンセミナー」、「データ分析応用」、「情報マネジメントセミナー」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「卒業研究」及び「情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)」を担当。
・杉田 博 兼任 教授 学位取得に伴い、保有学位等の変更。
・李 東勲 兼任 教授 授業コマ数調整により、「データマーケティング」を森 尊文 兼任 助教に変更。
・森 尊文 兼任 助教の採用により、「マーケティングリサーチ」を担当。
・西方 守 兼任 講師 定年退職に伴い、兼任・兼任及び職名の変更。
・大縄 道子 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語B」を長谷川 香子 兼任 教授に変更。
・弓谷 行宏 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語A」を長谷川 香子 兼任 教授、齋藤 サラベス 兼任 講師に変更。
・弓谷 行宏 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語B」を齋藤 サラベス 兼任 講師に変更。
・丸岡 泰 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「いしのまき学」を遠藤 郁子 兼任 教授に変更。
・佐々木 慶文 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「情報社会論」を劉 忠達 兼任 准教授に変更。
・佐藤 誠子 兼任 准教授退職により、「心理学-心の科学-」を大道 一弘 兼任 講師に変更。
・出蔵 咲野 兼任 講師退職により、「日本語技法A」を工藤 真子 兼任 講師に変更。
・菅原 大志 兼任 講師の退職。
・千葉 一 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「文化の理解」を西川 慧 兼任 准教授に変更。

【令和6年度】

・三橋 勇太 専任 講師 昇格に伴う職位変更。
・稲葉 健太郎 兼任 准教授 昇格に伴う職位変更。
・菅原 玲 兼任 講師の採用により、「データマーケティング」及び「マーケティングリサーチ」を担当。
・矢邊 均 兼任 教授の採用により、「法と人権」及び「情報と法」を担当。
・大坂 良宏 兼任 教授 定年退職に伴い、「財務管理論」を平澤 哲 兼任 講師に変更。
・照井 孫久 兼任 講師 退職に伴い、「ボランティア論」を阿部 由紀 兼任 講師に変更。
・長谷川 香子 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語A」及び「英語B」を阿部 純 兼任 助教に変更。
・柴田 和枝 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語コミュニケーションA」を藤掛 由実子 兼任 講師に変更。
・柴田 和枝 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語コミュニケーションB」を佐藤 康紀 兼任 講師に変更。
・杉田 博 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「アントレプレナーシップ」を森 尊文 兼任 助教に変更。

【令和7年度】

・湊 信吾 専任 教授 退職により、「情報活用法Ⅱ」、「情報マネジメント特別科目Ⅶ(人工知能)」及び「オペレーティングシステム論」を日野 博明 専任 教授に変更。
・湊 信吾 専任 教授 退職により、「情報システム設計論」を佐々木 万亀夫 専任 教授に変更。
・湊 信吾 専任 教授 退職により、「マルチメディア通信論」を三橋 勇太 専任 講師に変更。
・湊 信吾 専任 教授 退職により、「ロジカルシンキング演習」、「情報マネジメントセミナー」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」及び「卒業研究」の担当科目削除。
・茂木 克昭 専任 教授 所属変更に伴い、「兼任」から「専任」へ変更。
・中山 愛子 専任 准教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「マーケティング入門」を工藤 周平 専任 教授に変更。
・中山 愛子 専任 准教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「経済学入門」を茂木 克昭 専任 教授に変更。
・中山 愛子 専任 准教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「経済データ分析」及び「情報マネジメント特別科目Ⅱ(データ分析)」を小松 真治 専任 助教に変更。
・中山 愛子 専任 准教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「基礎統計学」を菅原 玲 兼任 講師に変更。
・中山 愛子 専任 准教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「ロジカルシンキング演習」及び「情報マネジメントセミナー」の担当科目削除。
・森 尊文 兼任 助教 退職により、「アントレプレナーシップ」を杉田 博 兼任 教授に変更。
・西方 守 兼任 講師 退職により、「哲学-知の起源-」を澤田 義文 兼任 講師に変更。
・遠藤 郁子 兼任 教授 授業コマ数調整及び時間割編成により、「いしのまき学」を亀谷 裕敬 兼任 教授に変更。
・尾崎 營治 兼任 講師 退職により、「日本語技法A」及び「日本語技法B」を勝又 琴那 兼任 講師に変更。
・工藤 真子 兼任 講師 退職により、「日本語技法A」の担当科目削除。
・柴田 和枝 兼任 講師 授業コマ数調整及び時間割編成により、「英語コミュニケーションA」及び「英語コミュニケーションB」の担当科目追加。
・齋藤 サラベス 兼任 講師 退職により、「英語コミュニケーションA」、「英語コミュニケーションB」、「英語A」及び「英語B」の担当科目削除。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は○年○月教員審査済と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-④ 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学・高専】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	1	0	2	9	0	6	2	1	1	10	0
(6)	(1)	(0)	(2)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	2	1	1	10	0	6	2	1	1	10	0
[0]	[1]	[1]	[Δ 1]	[1]	[0]	[0]	[1]	[1]	[Δ 1]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{9} = \boxed{111.11} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	関口 駿輔	R5. 3	必修	基礎統計学	①	R5. 3. 31付 一身上の都合により辞任（５）						
				必修	マーケティング入門	①							
				必修	経済学入門	①							
				必修	ロジカルシンキング演習	①							
				選択	経済理論	①							
				選択	応用統計学	①							
				選択	経済データ分析	①							
				必修	情報マネジメントセミナー	①							
				必修	ゼミナールⅠ	①							
				必修	ゼミナールⅡ	①							
				必修	卒業研究	①							
	選択	情報マネジメント特別科目Ⅱ（データ分析）	①										
2	准教授	渡邊 壽大	R5. 3	必修	情報活用法Ⅰ	①	R5. 3. 31付 一身上の都合により辞任（５）						
				選択	フレッシュマンセミナー	①							
				選択	データ分析基礎	①							
				選択	地域産業論	①							
				選択	データ分析応用	①							
				必修	情報マネジメントセミナー	①							
				必修	ゼミナールⅠ	①							
				必修	ゼミナールⅡ	①							
				必修	卒業研究	①							
					選択	情報マネジメント特別科目Ⅳ（地域産業）		①					
				3	教授	湊 信吾		R6. 11	必修	情報活用法Ⅱ	①	R6. 11. 27付 本人死亡により辞任（７）	
選択	マルチメディア通信論	①											
必修	ロジカルシンキング演習	①											
選択	オペレーティングシステム論	①											
選択	情報システム設計論	①											
必修	情報マネジメントセミナー	①											
必修	ゼミナールⅠ	①											
必修	ゼミナールⅡ	①											
必修	卒業研究	①											
	選択	情報マネジメント特別科目Ⅴ（人工知能）	①										
合 計（F）							後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	19	科目	必修	19	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	13	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	32	科目	計	32	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3	人	必修	19 科目	必修	19 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	32 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{3}{9} = 33.33 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目		後任補充状況		辞任等の理由				
		該当なし											
合計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<令和 5 年度報告分 教員 2 名の退職に関して> ・ 令和 4 年度内に後任教員を決定し、滞りなく令和 5 年度教育課程を開始したことから、令和 5 年度の履修等に関する影響はなかったと考えている。 ・ 辞任確定後、ゼミナール募集において学生へ周知を行った。 ・ 今後も引き続き、滞りなく教育課程を進められるよう注力する。 <令和 7 年度報告分 教員 1 名の退職に関して> ・ 令和 6 年度内に後任教員を決定し、滞りなく令和 7 年度教育課程を開始したことから、令和 7 年度の履修等に関する影響はなかったと考えている。 ・ 退職確定後、すみやかに担当科目の担当者変更を行うとともに、ゼミナール生に対して当該事案の説明会を実施し、学生に不利益が生じないようゼミナール所属変更を行った。
--

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記す

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (経営学部情報マネジメント学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 学部長会・大学院委員会合同委員会において、状況分析及び改善を進めている。(5)(6)	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (経営学部情報マネジメント学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 1 原因分析 ①第2回入学試験委員会(R4.5/9)及び第4回入学試験委員会(R4.9/29)において、令和4年度入学者選抜の総括を行い、本学の特色や教育内容等が受験生に伝わっていない、併願大学への流出が多く見られる等の要因があったとの原因分析を行った。 ②第3回学部長会(R4.5/10)及び第12回合同委員会(R4.10/11)において、令和4年度入学者選抜の総括を行った。 ③令和4年度石巻専修大学外部評価委員会(R4.12/13)において、定員確保に関して学生募集戦略の見直しが急務であること、本学を取り巻く学生競争競争の激化に対してこれまで以上の対応が必要となること等の点検・評価を受けた。 2 改善策等について ①学長・学部長からの年度初めの方針・挨拶(R4.4/1)において、各学科に対し「学科の特徴・活動」及び令和4年度入学者選抜データの分析に基づく「学科単位の学生募集計画案」を作成するよう指示を行った。計画案は第4回合同委員会(R4.5/24)において承認し、これらをもとに学生募集活動を実施した。 ②第6回合同委員会(R4.6/21)において、令和5年度入学者選抜における入学者選抜ごとの目標数を策定し、目標達成に向けて学生募集活動を実施した。 ③令和4年度石巻専修大学外部評価委員会(R4.12/13)での点検・評価を受け、令和5年度優先課題を設定し、今後の方向性を決定した。 (5)(6)	履行中

設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (経営学部情報マネジメント学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	1 原因分析 ○第1回入学試験委員会 (R5.4/11)において、令和5年度入学者選抜結果や各種入試データをもとに簡易的な原因分析が行われ、年内入試(学校推薦型選抜等)が不調であったこと等が入学者減少の要因であるとした。 ○第3回入学試験委員会 (R5.6/13)及び第4回合同委員会 (R5.6/20)において、令和5年度入学者選抜総括が行われ、年内入試へのシフトに対応ができなかったことや筆記型選抜において他大学への流出が多く見られる等の要因があったとの原因分析を行った。 ○第4回入学試験委員会 (R5.9/19)において、令和5年度オープンキャンパス実施結果分析に基づいた令和6年度入学者数予測が行われ、目標数を下回る予測結果となった。 ○令和5年度石巻専修大学外部評価委員会(R5.11/16)において、収容定員の確保に関して従来の対応策に加え新たな取組みを検討する必要があること等の点検・評価を受けた。 2 改善策等 ○第2回入学試験委員会(R5.5/9)及び第3回入学試験委員会 (R5.6/13)において、令和6年度入学者選抜制度別目標数、目標数達成に向けた各学部学科の具体的な学生募集計画を策定した。目標数、学生募集計画は第4回合同委員会 (R4.6/20)において承認し、これらをもとに学生募集活動を実施した。 ○第3回入学試験委員会 (R5.6/13)において、令和5年度入学者選抜結果を踏まえた大学広報・学生募集広報施策を策定した。施策は第4回合同委員会 (R4.6/20)において承認し、これらをもとに施策を講じた。また、入学試験委員会の下に専門部会を設置 (R5.7/4)し、探究型学習における高大接続の観点から新たな入学者選抜(令和7年度学生募集)を検討することとした。 ○第4回入学試験委員会 (R5.9/19)において、令和6年度入学者数予測の結果を受けて後期の学生募集施策を変更して対応を行うことを決定、実施した。 ○令和5年度石巻専修大学外部評価委員会(R5.11/16)での点検・評価を踏まえ、令和6年度優先課題を設定し、今後の方向性を決定した。さらに、教育内容の充実を図るため経営学部ではカリキュラム改正の検討(R5.11/14)を開始した。全学的には第2次中長期ビジョンの策定(R5.10/24)を開始した。	履行中	
--------------------------------------	---	-------------------------------	--	------------	--

設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	収容定員充足率が0.48倍と著しく低い。中長期ビジョンに基づき、地域や学生のニーズの把握に努めつつ、教育内容の更なる充実を図り、構成員が一丸となってビジョンの具現化に努めることや、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施することを通じて、入学定員の更なる充足に努めること。また、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、入学定員見直しの結論を得ること。 (経営学部情報	【A C】 指摘事項 (是正)	1 中長期ビジョンの具現化について 本学では、令和6年8月に第2次 中長期ビジョンを策定し、10月に公 開した。本ビジョンでは、大学のブ ランドスローガン「地域に根ざして 世界に尖った大学」を再整理し、以 下の7つの行動目標を示した。これ らの目標を達成することにより、石 巻圏域の唯一の高等教育機関として の持続性を担保し、地域とともに未 来を築く大学を目指している。 ①学生支援の強化 ②地域連携による社会実装と地域教 育の強化 ③社会実践教育の拡充 ④教学改革と入試改革の推進 ⑤魅力ある教育組織の新編 ⑥教職協働による大学改革の推進 ⑦財務の健全化 全学を挙げてビジョンの具現化を 行うため、策定前から全教職員を対 象としたビジョンの理解・浸透を図 るためのSDを開催するとともに、各 個別機関長を対象とした説明会を実 施し、各個別機関の行動計画にビ ジョン項目が反映されるよう工夫を 行ってきた。 さらに、速やかに第2次中長期ビ ジョンに移行できるよう、「第2次 中長期ビジョンを速やかに進めるた めの令和6年度における各委員会・ 教学組織等の行動計画」を策定・実 施し、先行して入試改革等を行って きた。これらの取組みは着実に結果 につながっており、令和7年度入学 者は、大学全体で305名（前年度か ら26名増加）、経営学部情報マネジ メント学科で22名（前年度から8名 の増加）と増加した。行動目標達成 に向けた取組み状況は、教学マネジ メントに関する事項及び内部質保証 の向上に関する事項を責務とする学 部長会・大学院委員会合同委員会が 随時確認し、適切な指示・支援等 を行う。 2 入学定員の更なる充足について 令和6年度入学者選抜結果の分析 から、学生募集方法等の改善方策と して、探究型入学者選抜制度の導 入、直接広報の強化としてオープン キャンパスのプログラムの刷新、学 長・役員等によるトップセールス、 SNSなどによる間接広報の強化等 を行った結果、情報マネジメント学 科入学者は22名（前年度から8名の 増加）となった。 (1) 年内入学者選抜入学者：14名 【令和8年度入学者選抜目標数：26 名】 ①総合型選抜 ⇒A日程自己エントリー型〔1 名〕、A日程探求型〔1名〕 ②学校推薦型選抜 ⇒指定校推薦〔9名〕、石巻地域特 別指定校推薦〔2名〕、スポーツ推 薦〔1名〕 (2) 年間入学者選抜入学者：0	履行中
---	---	--------------------------------	---	------------

マネジメント学科)		（注）年明けハチ白選抜ハチ白：〇名 【令和８年度入学選抜目標数：12名】 ①一般選抜 ⇒A日程３科目選抜〔２名〕、B日程２科目型〔１名〕、C日程〔２名〕 ②大学入学共通テスト利用選抜 ⇒A日程〔２名〕 ③特別選抜 ⇒特待生選抜３科目型〔１名〕 半数以上が年内入学選抜での入学となったことから、令和８年度入学選抜に向けた改善方策として、教育コンテンツの充実、総合型選抜A日程（公務員志望型）の導入や学校推薦型（石巻地域特別指定校推薦）の大幅拡充などの年内入学選抜の強化、系列大学である専修大学のノウハウを活用した公務員試験講座（オンライン）の導入、直接広報の強化としてオープンキャンパス開催日程の増加、SNS配信コンテンツの充実化等の間接広報の更なる強化等を行い、令和８年度入学選抜では入学38名を目標として学生募集活動を行う。 ３ 入学定員の見直しについて 第２次中長期ビジョンの行動目標④「収容定員充足に向けた教学改革と入試改革の一体的な推進（柔軟な教育システムの構築、入学選抜制度改革の推進、教学改革を活かした大学広報活動の推進）」、行動目標⑤「少子化を乗り越える魅力ある教育組織の新編」、行動目標⑥「教職協働の実現に基づく大学改革の推進（新たな教育組織体制へ転換）」に掲げた目標を達成するため、令和６年度から教育組織の新編についてワーキンググループを設置し、協議を行ってきた。協議の中で、急速な少子化時代を乗り越えるためには、教育改革等の取り組みだけでなく、定員規模の見直しが必要であるとの結論に至ったことから、令和９年度に入学定員の見直し（減少）を行うとともに本学における工学系の学科体制の見直し（学生募集停止を含む）を検討している。（７）	
-----------	--	--	--

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜経営学部 情報マネジメント学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
＜設置基準上の必要専任教員数＞9名	＜設置基準上の必要専任教員数＞10名 R3.6月 10名で算出する旨の連絡を受けたため、 R5.4月に教員を補充した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 石巻専修大学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みを推進するため、「石巻専修大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」に基づき、学長の下に、「石巻専修大学FD委員会」を組織している。また、各学部や研究科の教育目標を達成するために、各組織における委員を中心として、教育課程の検討や研究授業の実施などによる実践的な取組みを推進している。 ○石巻専修大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程 平成19年4月1日制定 改正 平成19年5月1日 (目的及び設置) 第1条 石巻専修大学（以下「本大学」という。）に、ファカルティ・ディベロップメント（本大学の教育の質的向上を図るため、組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。）の推進を目的としてFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。 (構成) 第2条 委員会は、次の者をもって構成する。 (1) 委員長 本大学の専任教員のうち学長が指名した者 1名 (2) 委員 各学部長及び各研究科長から推薦された教員 各若干名 (任期) 第3条 委員長及び委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。 2 委員長及び委員が任期中に欠けたとき、又は交代したときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。 (審議事項) 第4条 委員会は、次の事項を審議する。 (1) 教育活動改善の方策に関する事項 (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案及び実施に関する事項 (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項 (4) FDに関する報告書等の作成に関する事項 (5) 部会からの報告及び審議に関する事項 (6) その他FDの推進に関する事項 (招集) 第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。 (大学院部会) 第6条 委員会に、大学院のFDを推進するため大学院部会を置く。 2 大学院部会は、大学院のFDに係る事項について検討し、及び委員会に報告するものとする。 3 大学院部会に関し必要な事項は、委員会が定める。 (事務所管) 第7条 委員会の事務は、事務部事務課が所管する。 (規程の改廃) 第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。 附 則 この規程は、平成19年4月1日から施行する。 附 則 この規程は、平成19年5月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

石巻専修大学FD委員会は、年間4回程度の開催を予定しており、前年度（令和6年度）は3回開催した。
また、必要に応じて臨時委員会を開催する。

c 委員会の審議事項等

石巻専修大学FD委員会が審議する事項は、「①成績評価及び学修の質の保証のための基本フレームに関すること」「②授業計画書（シラバス）の基本構成に関すること」「③教育基本組織が定める学位授与方針（ディプロマポリシー）と教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）のプロトタイプに関すること」「④全学的FDの計画立案と実施に関すること」「⑤教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること」「⑥授業改善のためのアンケートに関すること」「⑦FDのための組織体制に関すること」「⑧教育成果の評価方法とその機能性に関すること」「⑨その他組織的教育活動に必要と認められる事項」である。

② 実施状況

a 実施内容

- ・学生による授業評価アンケート（前期／後期）
- ・教員対象FDセミナー
- ・新任教員SDガイダンス（授業・FD関係）
- ・授業研究会

b 実施方法

- ・学生による授業評価アンケート（前期／後期）：全授業科目を対象とし、Webアンケート形式によって年2回授業評価アンケートを実施
- ・教員対象FDセミナー：教学マネジメントに関する事項等について、教員を対象に対面でセミナーを実施
- ・新任教員SDガイダンス（授業・FD関係）：新任教員向けガイダンス時に本学のFD及び授業実施に関する研修を対面で実施
- ・授業研究会：専任教員を対象とし、対面で授業に関する取組みを共有する研修を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生による授業評価アンケート：前期（R6.7/1～8/2）及び後期（R7.1/10～1/27）で全科目を対象に実施
[前期] 実施対象教員139名、回答数6,445
[後期] 実施対象教員116名、回答数4,942
- ・教員対象FDセミナー：R6.10/17実施（対象教員56名、参加教員50名）
大学院FDセミナー（講師：中込 真二理工学研究科長、丸岡 泰経営学研究科長、
前田 敏輝理工学部教授、田村 真介経営学部教授）
- ・新任教員SDガイダンス（授業・FD関係）：R7.4/2実施 令和7年度FD・授業実施SDガイダンス
(対象教員5名、参加教員5名)
- ・授業研究会：R6.11/14実施（対象教員88名、参加教員58名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

石巻専修大学では、各教員がFD関連の企画への参加や実施結果等を踏まえて、担当科目の授業改善にそれぞれ努めていくことを基本としているが、FD委員会が主導し全学的に実施する授業評価アンケートについては、集計後すぐにデータを担当教員に戻した上で「授業評価アンケート結果についての教員の対応」に関する所見票に記載・提出してもらうことを通じて授業改善を促している。また、セミナーで授業評価アンケートの分析結果をフィードバックし、改善を促している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有り、年2回（7月・1月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目別の集計結果と教員所見票を学内システムにおいて公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

石巻専修大学では、学則第2条及び石巻専修大学自己点検・評価に関する規程に基づき、大学教育における教育の理念や目標に照らして、教育活動及び研究活動の状況を点検・評価することにより、現状を正確に把握、認識するとともに、その達成状況を評価し、評価結果に基づく改善の推進を図ることを目的として、自己点検・評価を実施している。

自己点検・評価の実施方法は、「石巻専修大学における内部質保証の方針」の下、本学の内部質保証の責任を負い、推進する学部長会・大学院委員会合同委員会（以下、合同委員会）を中心とした「石巻専修大学における内部質保証の体制」によって、自己点検・評価を自らの教育研究活動の改善のサイクルの中に明確に位置付け、自己点検・評価を行う責任体制を明確にしたうえで、「石巻専修大学自己点検・評価実施要項」を定め、自己点検・評価項目ごとに、個別機関（学部・学科、研究科、各種委員会、事務等）による自己点検・評価を行うこととしている。また、「自己点検・評価運営委員会」は、「合同委員会」の活動方針の下、各個別機関の教育研究活動等の自己点検・評価を運営・推進・総括し、毎年度の「自己点検・評価報告書（個別機関編）」の取りまとめを行い、「合同委員会」に提出する。

特に、教育活動と研究活動を中心として、大学の組織的な教育評価及び個々の教員の教育活動に対する評価の両面から実施するとともに、教育研究活動の水準向上の目標を定め、その達成状況を評価し、評価の結果を改革に結び付けるシステムとして構築している。

これらの方針、規程及び要項により、「大学自己点検・評価」は、「個別機関自己点検・評価」及び「教員活動自己点検・評価」を基本として、次のとおり実施している。

1. 個別機関（学部・学科、研究科、各種委員会、事務等）は、年度毎のPlan（計画）、Do（実践）、Check（点検・評価）、Action（改善）に沿って、「個別機関自己点検・評価報告書」を作成する。
2. 全教員は、年度毎の「教員活動報告書」を作成する。
3. 自己点検・評価運営委員会は、「個別機関自己点検・評価報告書」を「自己点検・評価報告書（個別機関編）」に、「教員活動報告書」を「自己点検・評価報告書（教員活動編）」にそれぞれ取りまとめる。
4. 合同委員会は、これらの「自己点検・評価報告書」に基づき、全学的視点での自己点検・評価を実施し、「自己点検・評価報告書（集約版）」を作成する。
5. 外部評価委員会は、「自己点検・評価報告書（集約版）」を点検・評価し、「外部評価委員会報告書」を作成し、学長に提出する。
6. 合同委員会は、「自己点検・評価報告書（集約版）」及び「外部評価委員会報告書」から次年度以降に向けた課題を選定し、個別機関・教員へ改善を促す。

自己点検・評価に当たっては、教育研究上の理念・目的・教育目標の達成度の評価と高等教育機関に求められる水準の評価の観点から点検・評価を行うとともに、自己点検・評価は、大学の改善や改革を行うための手段であり、目的ではないことを踏まえて、具体的な改善方策の提示に留意し、設定した到達目標を達成するため、長所を伸ばし、課題を解決していくうえで必要となる改善のための方策を提示する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・12月 公表予定（毎年11月に外部評価を受けた後、報告書の公表を行っているため）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和2年に評価機関（大学基準協会の認証評価）を受け、令和6年7月に改善報告書を提出した。
- ・認定の期間は、2021（令和3）年4月1日から2028（令和10）年3月31日までとなり、次回の認証評価は令和9年を予定している。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。